レッスン：30“M”

テーマ：意識のレベル

MAC30/MEN/DOC/PYRD6/KE4

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット・光・火の子供たちよ。私たちは主、絶対、神の聖性に常に抱かれています。

過去のレッスンでは意識の様々なレベルについて話しました；

絶対存在の絶対意識、

汎宇宙的ロゴスの意識、

そして魂のセルフ・エピグノシスの意識、

そして聖霊的意識です。

**魂のセルフ・エピグノシスについては、意識は一つであり、それは魂の意識であり、全ての魂のセルフ・エピグノシスは同じである、と述べました。**

聖霊的意識は一つなのですが、アークエンジェルのオーダーに従って僅かに異なって表現されます。セルフ・エピグノシスのプログラミングの特定のワークによる、創造界のなかで彼らが従事する働きのタイプにより僅かに異なっています。

これらの異なった形態の意識は、絶対存在の絶対意識と大いに類似しています。しかしながら、この類似は量的ではなく質的な類似です。

さらに私たちはLifeの現象の意識、および意識であるセルフ・エピグノシスの様々な異なったレベル…（それは意識が無知に取り込まれ、無知の中での現れの結果である）…について述べました。意識のレベルは常に、

各個人の気づきという現れのレベルによって決まります。これらの様々な表現レベルはいわゆる

本能的意識のセルフ・エピグノシス、

潜在的意識のセルフ・エピグノシス、

意識およびいわゆる超意識のセルフ・エピグノシスに分類されます；

無知への取り込みの結果として様々な意識レベルがあります。

さて、魂のセルフ・エピグノシスとしてのLifeの意識は、人間のイデアを通じての創造界へのロゴス的下降、さらにはLifeの現象に入り、現在のパーソナリティーのサイクルの開始を経ています。

創造界にはそのほかにも意識があるのでしょうか？マクロコスモス（大宇宙）、全ての宇宙、宇宙には意識があるのでしょうか？もしあるとしたら、誰がそれを司っているのでしょうか？そうです、もう一つの意識があります。それは私たちがPanAyia、the Widest of Heavens（最も広大なヘブン）、創造の母、処女マリアと呼んでいるものであり、それは絶対存在の本質内における一つの質であり特質なのです。

マインドとしても、マクロコスモスはマインドの異なったバイブレーションから来ています。全てはマインドであり、マインドを通じて様々な異なった現れがあります。それではこのマクロコスモス、創造界としての意識は誰が司っているのでしょうか？過去および現在の多くの考え方によれば、それは絶対存在であるとみなしています。そうです、アウタルキー（＊自足状態）にある絶対存在が全てを司っています。なぜなら、創造物として、そして現れとして、全てはそのアウタルキーのなかにあるからです。しかし、創造および現われの諸世界において、絶対存在は汎宇宙的キリストロゴスおよび聖霊的絶対存在として現れています。前に考察したように、

Lifeの現象として現在のパーソナリティーは様々なレベルの意識のセルフ・エピグノシスを現わすことができます。

現在のパーソナリティーが現すことのできる最も高いレベルはいわゆる

超意識のセルフ・エピグノシスです。

これは現在のパーソナリティーが四つのエレメントをマスターするレベルに到達し、現在のパーソナリティーの不定形の諸体を完全に再形成したことを意味します。

これが成し遂げられると、現在のパーソナリティーは肉体からサイコノエティカル体を分離させて、いわゆるエクソマトシスといわれる“現象”を行うことができます。

Page2

**自己実現した“パーソナリティー”としてモナドが帰還し、存在の諸世界における永遠のパーソナリティーとなった後、魂のセルフ・エピグノシスはどのような意識を現すのでしょうか？**

魂のセルフ・エピグノシスは今や、いわゆる自己実現した魂のセルフ・エピグノシスを現すようになります。これは、自己実現した魂は存在の諸世界において、他の全てのモナドである魂のセルフ・エピグノシス(Monad Soul Self-Epignosis)とは異なった色調を表現することを意味します。ロゴス的意識および聖霊的意識以外に、マクロコスモスにおいてその他に意識があるのでしょうか？あります。

異なった諸宇宙(Universes)、

異なった銀河、

そして超銀河の意識があります。

太陽系の意識があり、

惑星の意識があり、

全ての星々の意識があります。

これら全ての意識とは何であり、それらについて私たちは何を知っているのでしょうか？

創造の諸世界におけるそれら全ての天体システムと星々を司っているそれらの意識に関して私たちはあまりよく知らない、というのがそれらの問いに対する答えです。しかしながら、何かを明確にするチャンスとして考えてみましょう。

過去において、人間が超意識の最高のレベルに到達すると、彼はいわゆる惑星ロゴスになることができる、言い換えれば惑星を司る意識になることができる、と信じられていました。しかし、私たちの最近の探求の光によれば、おそらくそれは不可能だと思われます。そうです、現在のパーソナリティーによって非常に高いレベルの同調に到達することはできますが、過去に信じられていたような同化(assimilation)を達成することは不可能です。

同化はこれらの諸世界のためのものではなく、現在のパーソナリティーのためのものでもありません。それゆえ、誰も現在のパーソナリティーとして表現している間に惑星ロゴスになることは不可能です。

現在わかっていないことは、神（the Godhead）に帰還した後で惑星ロゴスを表現することができるかどうか、あるいはひとたび人間が魂のセルフ・エピグノシスと一つになった時そうなることが可能かどうか、ということです。これは今なおわかっておらず、クエスチョンマークとして残されています。

前に述べたように、シンボルは様々なレベルの現われを象徴しています。惑星上で最も高いレベルを現している人間は、上に十字架がある球体によって象徴されている惑星ロゴスと一体になっていると信じられていました。

このシンボルは過去において使用され、現在でもそれを使用している大司教たちがいます。なぜなら、彼らは惑星ロゴスと一つになることができると信じているからです。

実際には、それは不可能です。過去に説明したとおり、

転生のサイクルにいる間に到達できる最高の現れは

超意識的意識のセルフ・エピグノシス(superconsciousness consciousness self-epignosis)です。この現れのステート（＊状態、レベル）はヘルメス・トリスメギストス(＊三重に偉大なるヘルメスの意)のシンボル、三匹の蛇によって象徴されています。

それは現在のパーソナリティーを構成する三つのセンターの活性化を意味し、それによって、エクソマトシス（肉体とは独立してサイコノエティカル体を使う能力）が可能となります。ヘルメス・トリスメギストスのシンボルはまた医術をも現しています。

従って、三つの異なったタイプの意識、異なったフォームの意識、異なったレベルの意識表現があります。それでは、それら全ての意識の現れはどこにあるのでしょうか？それらは絶対意識（Absolute Consciousness）のなかにあります。全てはアウタルキーのなかにあります。前に述べたように、

創造の諸世界にあるものは全て神の黙想の結果です。なぜなら、全ては神の黙想の動きのなかにあるからです。

絶対意識は一つであるにも関わらず多様性の状態にある、と言う事ができるでしょうか？過去において、絶対存在は多様性であり、それは無数の聖なるモナドで構成されていると述べました。そして聖なるモナドには絶対存在の絶対意識という意識以外の意識はないので、絶対存在はその多様性のなかで一つなのです。

上記のような演繹法…新しいものも古いものもありますが…の目的は一体何なのでしょうか？その理由は、私たちの部屋の中で、私たちの墓、つまりピラミッド、四面ピラミッドの中で、そして同時に他の全てのタイプのピラミッドの中で真剣なワークをスタートする上で、それら全てが必要となるからです。実際、私たちが自分の気づきのレベルでワークを始める時、自分の気づきの意識がより高いレベルの意識を表現するのを助けているのです。それによって、セルフ・エピグノシスが解放されて一段階上へと移動できるのです。

それゆえ、私たちの大きな仕事とは、私たちの意識を低いレベルの表現に縛りつけている***それらの限界に関するワーク***を始めることです。それによって、より高いレベルの気づきを現すことができるようになります。

質問：惑星ロゴスに関する見解が変化した原因は何ですか？

K：見解の変化という問題ではありません。私たちは探求者であり、これは探求の結果です。光がもっともっと明るくなっていくのです。私たちが今日知っていることは明日もそのまま同じである、というわけではありません。私たちは教条主義者ではありません。もし私たちが全てを知っているかと聞かれれば、その答えは「リアリティーと比較するなら私たちは何も知っていない」と答えるでしょう。私たちは探求し、さらに探求を続けます。もちろん、全般的構造は変わりません。構造内の細かな部分が変わっていき、絶えずより明るくなっていくのです。

質問：変化を促進させたスパークについて聞きたかったのですが。

K：そのスパークとは、私たちが探求者だからです。これがスパークであり、それ以外にその方向への探求へと私たちを押すものはありません。私たちは絶えず探求を続け、それ以外には特定の探求に向けて私たちを押し出すものはありません。与えられたもの全て、明確なもの全ては探求の結果です。しかし、それは同じであり続けることはありません。なぜなら、光はより明るくなっていき、その結果私たちは自分達を取り囲んでいる事柄に関してより理解が増していくからです。このようにして、より詳細な事柄が表面に浮上してくるのです。私たちは何かの結果として特定の方向に押されているのではありません。

質問：二つのロゴス、惑星ロゴスと汎宇宙的ロゴスの間には違いがありますか？

K：質的には同じですが、量的には違います。それは海の水の一滴と同じです。質的にはその水の一滴は海と同じですが、量的には異なります；海からの水の一滴は海ではありません。

質問：私たちが部屋の白い面に向かっていながら、しかも“私たちの部屋に立っている時に”ホワイトブルーの方向に動くべきなのは何故か、理由を説明してくれますか？

K：無知の中に在る間は、人間は啓発へと導かれるのとは反対の方向を向いています；人間は地にフォーカスしており、それゆえに人間は五つの超感覚ではなく五感を表現しているのです。そのうち、探求者は啓発、自己実現に通ずる方向へ向かうための正しい道を知るようになるでしょう。

私たちは主、絶対、聖なる神の質に常に抱かれています。

EREVNA 30“M”MEN/DOC/WIN KG4/6

EXERCISE WITH THE RAINBOW/“M”/20.

エクササイズ//CAT/B/NO.20

自然/虹

超意識に向かうエクササイズ

あなたの心を騒がせるもの全てを解き放ちます…自分が純白に包まれているのをイメージします。純白の光に包まれています…そして、自分の形の境界を感じます。アガピという言葉を繰り返し始めます。アガピという言葉を、自分にとって最も快適なリズムで繰り返します…アガピ…アガピ…アガピ…。あなたは主のアガピの中へより深く入っていきます…主の腕のなかへ深く、深く入っていきます…続けます…アガピ…アガピ…アガピ…あなたは主のアガピの中へ入っていきます…主の腕のなかへと入っていきます…平安…静寂の中へ…至福の中へと入っていきます。

あなたは白に包まれて、田舎の空の下にいます…自然の中でその様々な自然界の音に囲まれています…あなたの周囲にあるもの全ては微笑んでいます…あなたは植物や動物の世界に包まれています。木々があり、みずみずしい緑が茂っており、美しい色とりどりの花が咲いています…様々な色、様々な大きさの動物、鳥たちがいます。あなたの周囲にあるもの全てが非常に生き生きとしており、生命の息吹が感じられます…全てがあなたに向かって光を放射しています。

（このポイントで音楽をかけて、自然界の調和と動きの感じをもっとかもし出すようにします）

あなたの周囲には真の調和があり…それらの美しい自然界の音を聞いていると…あなたもその調和の一部分であると感じます。周囲にあるもの全てが光を放っており…あなたもまた周囲に光を放っています…自然の調和と美があなたを包んでいるのを感じます。

この自然界の調和の中で、あなたはもう一つの音に気づき、その音の方に引かれていくのを感じます…あなたはその音に向かって行きます…それは流れる水の音です。

この音に向かって引き寄せられている時、身体が浮き上がるのを感じ…あなたの足が地面から離れ、宙に浮き、流れる水に向かっています。宙に浮きながら流れる水に向かって行くとき、ときどき植物が両足に触れるのを感じます…宙を滑りながら、その音に向かって動いています。

今やあなたの前には美しい渓谷が広がり、きれいな水が水しぶきをたてながら流れています。この渓谷にはLifeの現象の躍動があります。

周囲のもの全ては生き生きとしており、微笑んでおり、全ては躍動しており、あなたは周囲に真の調和があるのを感じます。動物や小鳥たちが遊び、透明なきれいな水を飛び散らしています。

これらの水の流れにさらに近づいていき、あなたは空中に浮きながらこれらの澄んだ水を見ているのを感じます…水は非常に澄んでいるので、川底の細かなところまで見えます…底には水草が生え、水の中で生がそれ自身を表現しています…様々な魚…そしてその他いろいろな形態の生命が息づいています。あなたの周囲には本当の調和が…調和とメロディーがあります。

今あなたは何かに引っ張られるのを感じます…あなたはそれに注意を向けていますが、まだそれが何なのかわかりません…しかし、それが磁石のようにあなたを引っ張るのを感じています。

見上げると、地平線から地平線へと最高に美しい虹がかかっています…それはあなたの前にあり、様々な色の美しい輝きを放っています。

全てが美しいその虹があなたの眼前にあります。その虹に引っ張られ、あなたは水の上、地面の上を浮きながらそれに向かって動いています…どんどんそれに近づいています…あなたはそのオーラをもっともっと感じ始めます…もっともっと近づき、次第にあなたは虹のなかに入っていきます。

あなたは今や様々な色の輝きに包まれており…虹のなかに入るとその至福を感じます…その美しさを感じます…それらの輝きに包まれていると、言葉で表現できないような何かを感じます。

あなたはその虹の荘厳さを生きています…あなたはその中にいます…そして徐々にあなたはその中で自分が拡大していくのを感じます。身体の境界が次第に失われ、虹全体のなかに拡大していきます。あなたは虹と一つになります…あなたは虹であり、それらのあなたの色で周囲のもの全てを包みます。あなたはこの瞬間何という喜び、何という至福を経験しているのでしょう。

あなたの愛と共に、あなたは周囲の全てに生の脈動を感じています…そして、それはあなた自身の脈動であることがわかります…このような状態を生き、体験する能力をあなたに与えたそのパワーに感謝を感じています…あなたは周囲の調和と一体になっています…周囲にあるもの全ては美しく…これは本当のパラダイスです…あなたはこのエクスタシーの中で自分自身を放棄します。

ゆっくりと身体の形へと戻り始めるのを感じます…ゆっくりと戻ります…徐々に自分の形を、境界を感じます…しかし、あなたはまだ主の腕の中にいます…あなたは主の中にあり、様々な虹の色に抱かれています…宙に浮いていながら、ゆっくりとあなたは虹から離れ、ある距離を移動した後、振り向いてその壮大な虹を再び見ます…それはあなたの前にあります。

全ては調和と共に脈動しています。

そのような体験、そのような状態を経験する能力に感謝を捧げます。

そのような状態…パラダイス…を通じて再び生きることを自分自身に約束します…パラダイスはあなたから遠く離れたところにあるのではなく…あなたの内側にあるのです。

再びアガピ…アガピ…と繰り返します。最愛のお方の愛があなたと共に、あなたの愛する人々と共に、あなたの家庭に、そして全世界にありますように。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

EREVNA/EXER/CAT/B/NO20